

- 1 自ら学び自ら考える生徒
- 2 認め合い協力する生徒
- 3 明るくたくましい生徒

燃える闘魂 輝く一条

今年を振り返って ～子どもたちの真っすぐな眼差しと着実な成長に感激～

4月に一条中学校長として赴任してから、9か月が過ぎようとしています。これまで3つの生徒指標（目指す生徒の姿）を達成すべく、子どもたちや教職員と一緒に様々な課題に取り組んでまいりましたが、この間、保護者の皆様、地域の皆様には、本校教育への深いご理解とご協力をいただき心より感謝いたします。

本校の子どもたちには、「常に真っすぐに物事を捉える」という素晴らしい特徴があります。日々の生活や学校行事で子どもたちが見せる姿も実に清々しく、物事の良し悪しの判断や困っている友人への心遣いなど、とても成長していると実感しています。

さて、令和4年は、子どもたち、また皆様や私たちにとってどんな年になるでしょう。コロナウィルスの新たな変異株の出現、激しい気候変動や複雑さを増す国際情勢、Society5.0の到来といった中、学校教育にあっても、新学習指導要領の完全実施や働き方改革など、新たな時代への変革が必要とされています。

一条中学校では、「不易流行（変えてはならないもの、変えるべきもの）」をしっかりと判断しながら、子どもたちや教職員がより具体的な行動がとれるよう、新年度に向けた計画作りに入ります。今後ともお力添えをお願いいたします。皆様、よいお年をお迎えください。

年末年始の意味



年末年始の様々な行事には、万国共通に「生まれ変わり」の意味があるのだそうです。これは、古いもの、悪かったことを捨て、新しいもの、正しいことを獲得しようとする考え方です。衣服や家財道具を整理して新調するのも、お焚き上げや忘年会（今年も断念しましたが）という催しも、新年を迎えるための準備なのですね。

皆さんのお宅では、もう大掃除は済みましたか？子どもたちも、クラスで、部活で、学校全体で大掃除を行いながらこの一年を振り返り、新しい目標を立てようとしています。この機会に、ご家庭でもお子さんと新年の抱負を話題にしてみてください。

受験を迎える3年生へ

年が明けると、いよいよ私立高校の一般入試がスタートします。ドキドキしている人、自信がないと心配する人もいると思いますが、これで人生が決まってしまうわけではありません。これまで頑張ってきた自分の力をぶつける「絶好のチャンス」と捉え、残りの時間を有効に使って、前向きに受験に臨んでください。

私の経験を次に紹介しますので、参考してみてください。

① 朝方の生活に切り替えよう

脳科学的には、ヒトの脳がフル回転するには起床から約5時間必要ともいわれています。5教科の試験で3時間目（県立高では数学、11時40分～）に合わせるとすれば、遅くとも6時40分には起きていることがおすすめです。2時間目（社会、10時35分）に合わせる人は5時半です。

② ケガ・病気をしないこと

私は、県立高校入試の約一週間前に、体育の時間のマット運動で友人の腰に顔面を強打し、鼻がパンパンに腫れた状態で試験を受ける羽目になってしまいました。数学の試験では思考が鈍り、悔しい結果となりました。落ち着いた、規則正しい生活を送り、ケガや病気にならないように注意しましょう。

早起きは三文の徳



一条中は、SDGs（持続可能な開発目標）に関する学習を実践し、その達成に向けて努力しています。